

科目名 Subject	美容衛生管理論 Sanitation administration Theory			教員名	大西 典子・及川 麻衣子	
開講年次	1	開講時期	夏季・冬季	単位	1単位	
必修／選択	選択	授業形態	講義	時間	30時間	
実践的教育	○					
主な学習効果	知識・技能	主体的行動力	課題解決能力	多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	美しく生きる力を実践できる能力
	◎		○			
科目の概要	本科目は、公衆衛生、環境衛生、感染症、衛生管理技術（消毒法）で構成されている。新型コロナウイルス感染症や様々な感染症の特徴を知り、美容を提供する上での適切な対応につながる美容師に必要な知識を学ぶ。学習をすすめることで習得した知識や技術を活かす場面を想定できることを目的にしている。また最終的には美容に係る衛生管理上の課題に対して適切な解決策が選択できる能力の養成を目的にしている。					
授業方法	対面授業（感染状況によりオンライン授業に変更になる場合があります。）					
授業の目標	・美容に係る感染症の種類と特徴が述べられる ・公衆衛生の概要が述べられる ・様々な対象に対する保健が述べられる ・美容に係る環境衛生が述べられる ・美容に係る感染症に対する適切な消毒方法が述べられる。 ・美容に係る衛生管理上の課題に対する適切な解決策が選択できる。					
時間外学習 （予習・復習）	（予習）毎回の授業のテーマのキーワードについて新聞・ニュース・インターネットの記事などから情報収集し、自分なりのイメージを持っておいください。情報の調べ方参考文献なども授業の最後に支持をします。 （復習）各回のテキスト内容や資料を使って、課題についてのノート整理を行ってください。定期的に確認します。					
教科書・教材	教科書		衛生管理 日本理美容教育センター 2023年			
	教材		なし			
	使用設備・備品		なし			
	参考文献		美容師国家試験過去問題、まとめ資料など			
評価方法	平常点（20％）、定期試験（80％）					
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。					
学生へのフィードバックの方法	定期試験の要点について、掲示にて解説を行います。					
履修上の注意	本科目は、1年の夏季集中期間と冬季集中期間に分けて開講され、時間が空いても授業内容が積み重ねられるよう時間外学習を継続し、ノート整理を行っておくこと。					
本科目履修と関連する資格	資格名	なし				

授業計画			
	授業内容	到達目標	時間外学習・備考
第 1 回	オリエンテーション 感染症（１）：衛生害虫と感染症の分類について学ぶ	衛生害虫・感染症の分類のしかたが述べられる。	衛生害虫と感染症について予習（30分） 課題と資料で復習（30分）
第 2 回	感染症（２）：病原微生物について学ぶ。	細菌とウイルスの違いが述べられる。	病原微生物について予習（30分） 課題と資料で復習（30分）
第 3 回	感染症（３）：感染症の予防について学ぶ。	常在細菌叢、免疫のしくみ、感染症予防の三原則が述べられる。	感染症の予防について予習（30分） 課題と資料で復習（30分）
第 4 回	感染症（４）：飲食物、血液を介して感染する感染症について学ぶ	飲食物・血液を介して感染する感染症が述べられる。	飲食物、血液を介して感染する感染症について予習（30分） 課題と資料で復習（30分）
第 5 回	感染症（５）：空気・飛沫を介して感染する感染症について学ぶ。	空気。飛沫を介して感染する感染症の特徴が述べられる。	空気・飛沫感染について予習（30分） 課題と資料で復習（30分）
第 6 回	公衆衛生（１）：公衆衛生に関わる歴史上の人物と公衆衛生の定義を学ぶ	美容と公衆衛生のかかわりが述べられる。	公衆衛生と美容について予習（30分） 課題と資料で復習（30分）
第 7 回	公衆衛生（２）：公衆衛生に関わる理美容業、保健所との関連を学ぶ。	美容業に関わる保健所の役割が述べられる。	保健所業務について予習（30分） 課題と資料で復習（30分）
第 8 回	公衆衛生（３）：母子保健・精神保健について学ぶ。	母子保健・精神保健で扱われる対象の年次推移が述べられる。	母子保健・精神保健について予習（30分） 課題と資料で復習（30分）
第 9 回	公衆衛生（４）：成人保健について学ぶ。	主な生活習慣病について述べられる。	成人保健について予習（30分） 課題と資料で復習（30分）
第 10 回	公衆衛生（５）：高齢者保健と介護保険制度について学ぶ。	わが国の高齢化の年次推移と医療保険制度・介護保険制度の概要が述べられる。	高齢者保健・介護保険について予習（30分） 課題と資料で復習（30分）
第 11 回	環境衛生：空気環境と上下水道・廃棄物について学ぶ。	美容事業に係る空気環境や上下水道、廃棄物について述べられる。	美容室の空気環境について予習（30分） 課題と資料で復習（30分）
第 12 回	消毒法（１）：美容師法で規定されている消毒法の概要を学ぶ。	美容師が行う消毒法の種類が述べられる。	消毒法の種類について予習（30分） 課題と資料で復習（30分）
第 13 回	消毒法（２）：美容師法で規定されている理学的消毒法・化学的消毒法について学ぶ。	理学的消毒法、化学的消毒法の特徴が述べられる。	理学的消毒法・化学的消毒法について予習（30分） 課題と資料で復習（30分）
第 14 回	消毒法（３）：美容師法で規定された消毒液の濃度と希釈液の調整法を学ぶ。	消毒液の濃度と希釈液の調整法が述べられる。	消毒液の濃度と器釈放について予習（30分） 課題と資料で復習（30分）
第 15 回	消毒法（４）美容器具の消毒法を学び、美容に係る衛生管理上の課題と適切な解決策を学ぶ	美容に係る衛生管理上の課題に対する適切な解決策が選択できる。	感染症と公衆衛生、消毒法について整理しておく（30分） 課題と資料で復習（30分）